

Tsuyama College		Year	2022		Course Title	中国語Ⅱ
Course Information						
Course Code		0046		Course Category	General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits	Academic Credit: 2	
Department		Department of Computer and Information Engineering		Student Grade	5th	
Term		First Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		教科書：『理系学生の為の中国語』参考図書：『中国語入門＆異文化理解ハンドブック』（アルク），指定はしないが中国語辞典が必要。				
Instructor						
Course Objectives						
学習目的：初級から中級程度の中国語の運用能力を身につける。						
到達目標						
１．中国語独特の音声，イントネーションを聞き取り，また発声できる。						
２．基礎的な単語600語程度を理解する。						
３．交通機関利用，ホテルの宿泊，簡単なトラブル解決等，簡単な日常会話ができる。						
Rubric						
	優		良		可	不可
評価項目1	教員の問いかける中国語を聞き取り，適切に中国語で回答できる。		教員の問いかける中国語を半ば以上聞き取り，半ば以上回答できる。		教員の問いかける中国語をある程度聞き取り，ある程度回答できる。	教員の問いかける中国語をほとんど聞き取れない。
評価項目2	必要な単語の意味表記，発音を理解し運用できる		ある程度の単語の意味，表記，発音を理解し運用できる。		最低限の単語の意味，表記，発音を理解し運用できる。	基礎的な単語の意味，表記，発音を理解できずまた努力しない。
評価項目3	既習の文法，句法に則った正しい中国語を運用できる。		既習の文法，句法と相違しても、意味の取れる中国語を運用できる。		既習の文法，句法と相違しても、意味の取れる中国語を運用使用とする。	既習の文法，句法に則った中国語を運用できず，また学ぼうとしない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別：一般 学習の分野：外国語					
	基礎となる学問分野：人文学／言語学					
	学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（５）国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。					
	技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育目標は「（Ｂ）地球的視野に立った人間性の育成，Ｂ－２：地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し，説明できること」であるが，付随的には「Ｂ－１」にも関与する。					
Style	授業の概要：中国語Ⅰで身につけた初歩的な中国語会話を基礎として，より高い水準の会話能力を身につけるべく，新たな単語，言い回し，構文を学び，さらにそれを自らの発話に応用できるよう練習する。					
	授業の方法：テキストを利用し，発音練習，単語説明，文法解説等を進める。時間があれば自作教材による会話練習を行う。ビデオ教材も利用する。					
	成績評価方法：２回の定期考査の結果を７０％，毎時間実施する小テストを１０％，平素の口頭演習等を２０％として，総合計によって評価する。時間外の学習内容の評価は，平素の口頭演習等に含まれる。試験への持ち込みは一切不可。場合によっては再試験を実施することもある。再試験の評価は定期試験１回分と同等とする。					
Notice	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。１単位あたり授業時間として１５単位時間開講するが，これ以外に３０単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。					
	履修のアドバイス：中国語Ⅰを履修した者，中国語検定４級以上を取得した者，その他指導教員がそれと同等の力があると認めた者。語学であるから，予習復習等の物理的負担は大きい。小テストの準備は必ずしておくこと。					
	基礎科目：中国語Ⅰ（４年） 関連科目：日中比較文化論（専１年）					
受講上のアドバイス：語学は予習，復習が大切。論理より訓練だと考えること。また，会話能力の伸長のためには積極的な発話が必要。間違いを恐れず意欲的に取り組んでみてほしい。授業開始より２０分を過ぎた場合は，欠課扱いとする。						
Characteristics of Class / Division in Learning						
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
履修選択						
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス テキスト第１～２課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備		授業計画を理解する。	
		2nd	第３～５課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備		３～５課の内容を理解する。単語を発音し、聞き取れる。	

		3rd	第 6 ～ 7 課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	6 ～ 7 課の内容を理解する。単語を発音し、聞き取れる。
		4th	第 8 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 8 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		5th	第 9 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 9 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		6th	第 1 0 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 1 0 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		7th	第 1 1 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 1 1 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		8th	中間試験	これまでの学習内容の理解度の確認。
	2nd Quarter	9th	中間試験の返却と解説，ビデオ教材視聴 新テキスト 第 1 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	これまでの学習内容理解の不足を補う。第 1 課の内容を理解する。
		10th	第 1 課、第 2 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 1 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		11th	第 2 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 2 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		12th	第 3 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 3 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		13th	第 4 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 4 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		14th	第 5 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 5 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		15th	期末試験	これまでの学習内容の理解度の確認。
		16th	期末試験の返却と解説	これまでの学習内容理解の不足を補う。

Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	Total
Subtotal	70	20	0	0	0	10	100
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0